

## 特許抄録

第 20 卷 第 6 號 昭和 9 年 5 月

### アスファルト舗道材料更生法

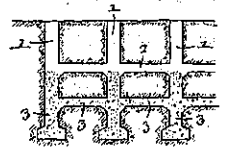
(特許第 104907 號, 特許権者(發明者)ノーマン, ヘンリー, テイラー氏)  
優先権主張 1932. 9. 20, 公告 8. 11. 17, 特許 9. 2. 9

この發明は使用に堪へざるに到つた舗道材料を打撃式粉碎機で粉碎して空間率を増加せしめ尙必要があれば砂、碎石等を加へて更に空間率を増加せしめて、廻轉式加熱ドラム中にて材料を加熱する際材料が内壁に附着しない程度とし、ドラムの中で材料を攪拌しつつ 350°F に加熱してピチューメン溶解油填隙物等を必要に応じて追加し完全にこれ等を混合し、尙この追加物の追加割合は試験材料を加熱壓搾して同材料が舗道として道路に敷かれた場合に受くると同程度に壓縮しても 1.5~5% の空間率を保ち得る量とするが如き舗道材料更生法である。

### 地中に於ける構格構成方法

(特許第 104963 號, 特許権者(發明者)木田保造氏, 出願 7. 12. 14, 公告 8. 9. 18, 特許 9. 2. 16)

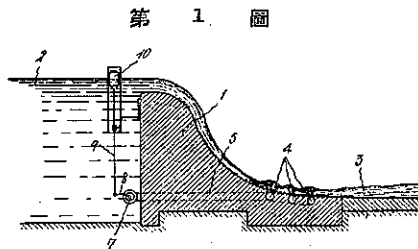
この發明は適當なる間隔距離を保つて地中に縦孔を掘鑿しこれと連通する様に横孔を開き、これにコンクリートを充填して縦横兩孔を地中に於て一體に連絡せしむる方法であつて(圖面参照)、施工地域内の土砂を特に掘鑿するの手數を省略すると共に構格を自然の土砂に支持せしめやうとするのである。



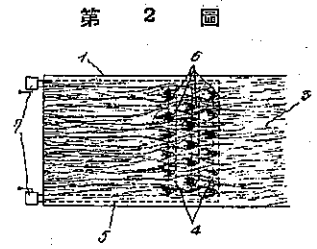
### 堰堤水門又は水路等に於ける流水の勢力減殺装置

(特許第 104999 號, 特許権者(發明者)萩原俊一氏, 出願 8. 9. 25, 公告 8. 10. 20, 特許 9. 2. 16)

これは流れに反抗する方向を以て適當壓力の噴水を流れに働かしめて水力的に流速を減速せしめやうとするもので(第 1 圖, 第 2 圖参照)これに依つて堰堤等に於ける趾部の損害を未然に防止せんとするものである。



第 1 圖



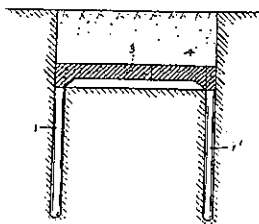
第 2 圖

### 地下建設物築造法

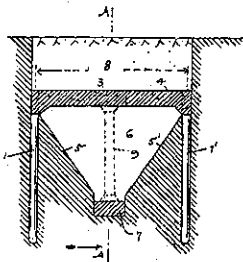
(特許第 105075 號, 特許権者(發明者)景安武重氏, 出願 7. 11. 9, 公告 8. 9. 4, 特許 9. 2. 22)

この方法は地下に列状を爲して埋設したる縦杭(1)を側壁の上部の土砂を排除して頭部を露出せしめ杭の上部を連結して天井壁を構築し(第 1 圖参照)天井壁の下部に土留用法面を残して土砂運搬道を掘鑿し(第 2 圖参照)

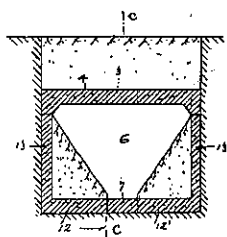
第 1 圖



第 2 圖



第 3 圖



次に該土留用法面を形成する土砂を横斷して前記の縦杭に達する「凹入缺所」を設けこの部分で縦杭の一部を互に連結して側壁の一部を構築し（第 3 圖參照）次に殘餘の土留壁を形成する土砂を又除去して構側壁を構築するのである。

### 貯水池漏水防止法

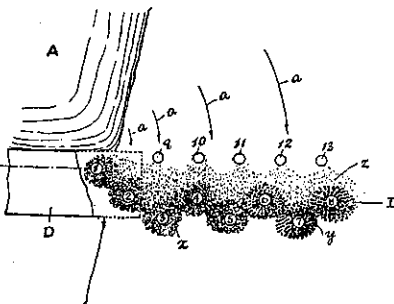
（特許第 105116 號，特許權者（發明者）鹽田岩治氏，出願 8. 9. 5，公告 8. 11. 15，特許 6. 2. 23）

この方法は貯水池（A）の周圍に於ける岩盤礫層等の内部を通して漏水を生じた場合，漏水の方向と略直角なる方向に於て多數の孔を何れも漏水箇所を貫きて列穿し，（第 1 圖，第 2 圖參照），その中の或る孔内にはバテを，

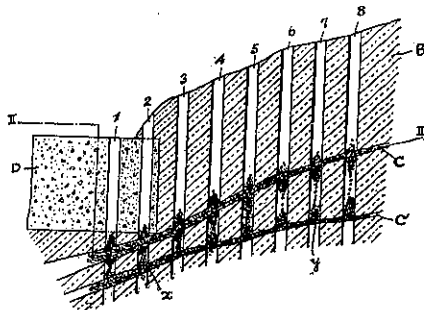
他には乾燥豆類又は豆粕を互に連結

密着せしめて漏水箇所を横に一貫して充塞した後これ等の孔に近く列穿したる多數のセメント注入孔より注入したセメントを凝固せしむるものである。

第 1 圖



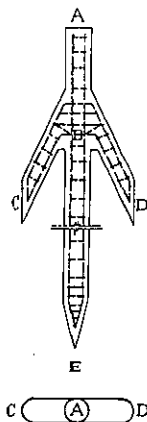
第 2 圖



### 枝 杭

（特許第 105203 號，特許權者（發明者）金森誠之氏）  
出願 8. 9. 30，公告 8. 12. 6，特許 9. 3. 2

この杭は打込中及び載荷後に脱離又は破損しない程度の強さを有し且つ枝端を打込み易くした棒状の枝を杭に對して鋭角に取付けたものであつて支持力を増加せしめ用途によつては斜の方向より受ける分力に對抗し得る効果がある。



## 道 路 鋪 装 方 法

(特許第 105287 號, 發明者 柿元義秀氏, 特許權者 東京工業試験所長)  
出願 8. 3. 31, 公告 8. 12. 15, 特許 9. 3. 10

この發明は、廢物に歸した加硫ゴム屑を使用して容易且つ安價に道路鋪装を爲さんとするものであつて、加硫ゴム屑を沸騰點高き油類と共に加熱熔融しこれに消石灰及び硫黄を加へ加熱混和しこれを碎中に注ぎ120°~150°Cに達したる時更に消石灰硫黄及び有機促進劑を加へて攪拌混和し、その儘固結せしむるのである。

## 3 段 施 工 式 セ メ ン ト ・ コ ン ク リ ー ト 鋪 装 工 法

(特許第 105350 號, 發明者 奈良原輝雄氏, 特許權者 (發明者) 山本卯太郎氏)  
出願 7. 4. 2, 公告 8. 10. 9, 特許 9. 3. 14

この方法は、大中小の各自比較的等大に篩分けた各粗骨材別に各々適當なる水量を含有するニート・セメントを混合した 3 種の混合材を用ひ、先づ大粗骨材の混合材を敷均し充分輾壓した後その表面空隙に嵌入するも層を爲さざる程度に薄く中粗骨材の混合材を敷均し輾壓を爲し更に小粗骨材の混合材を残れる表面空隙に嵌入する程度に少量敷均し充分に輾壓を加へ 3 種の粗骨材をして順次に互は嚙合しつゝ全體を一體に硬化せしむる鋪装法である。